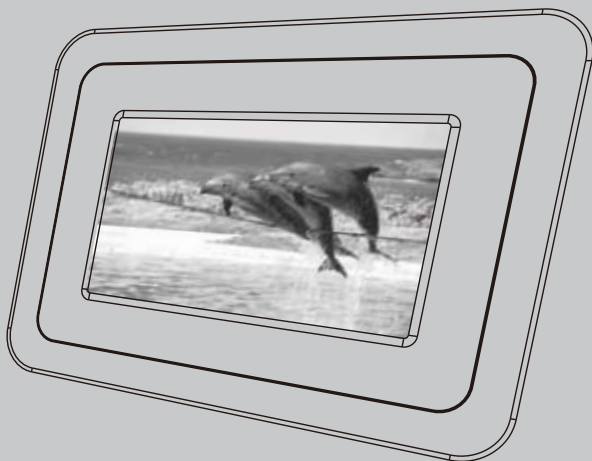
8.5インチ液晶デジタルフォトフレーム

DIGITAL PHOTO FRAME

製品型番 DS-DA851 取扱説明書

⚠ 各種メディアの再生について

[メディア再生についてのご注意]：

写真や音楽、映像等パソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては再生できないものもあります。接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません、予めご了承ください。また、大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

[内蔵メモリ容量について]：

内蔵メモリの一部はシステム領域として使用されるため、記載のメモリサイズの全てを使用することはできません。

目次

8.5インチ液晶　デジタルフォトフレーム
取扱説明書

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう、大切に保管してください。

セット内容

パッケージの中に以下のものが入っているかをよく確認してください。不足品がありましたら、弊社までお問い合わせください。また改良のため、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

- □ デジタルフォトフレーム本体
- □ スタンド
- □ リモコン
- □ AC 電源アダプタ
- □ イヤホン
- □ miniUSB ～ USB ケーブル
- □ 取扱説明書／保証書

使用上の注意

- ●本製品をご自身で修理したり、分解したりしないでください。液晶内の部品に高電圧の物もあり、大変危険です。また、本製品に強い力をかけたり、重い物を置かないでください。本製品あるいはディスクが破損する場合があります。
- ●本製品には USB 端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置、ワンセグチューナーなど）を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USB からの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
- ●風呂場や台所など、水気のかかる場所や湿度の高い場所で本製品を使用しないでください。また、濡れた手で本製品を触らないでください。水気によるショートや、感電のおそれがあります。
- ●本書に従い、正しく配線を行ってください。正規の配線が行われないと、故障や損傷、あるいは身体に危険が及ぶおそれがあります。
- ●お手入れをする場合は、必ず本製品の電源を切り、電源ケーブルを外してください。乾いた柔らかい布で手入れを行い、アルコール、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。
- ●寒い場所から暖かい場所に移動した時、内部で結露を生じる場合があります。その場合は１、２時間そのままの状態で放置してください。

●不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光にあたる場所に本製品を置き去りにしないでください。また、車内への置き去りもご遠慮ください。故障の原因となります。

電源供給に関する注意

●付属の電源コード以外のコードは使用しないでください。
●本製品の電圧が、家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認してください。AC100V。
●電源アダプタは十分注意して配線してください。特に電源ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり、破損するおそれがあります。
●配線が切れかかった電源コードは使用しないでください。また、電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。ショートによる火災の原因になります。

メディアの挿入時、電源接続時の注意

●本製品に直接挿入することが可能なメディアカードは、MMC と CF カードです。その他のメディアカードを接続するときは、アダプタや USB カードリーダー等を介して行なってください。上記以外の方法での接続やカード以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。
●本製品に、各種メディアを接続する場合は、接触端子部の向きを確認した上で正しい向きで挿入してください。間違った向きやズレた位置で無理矢理挿入した場合、接触端子部が破損したり、挿入メディアが取り外せなくなったりします。
●記録データの損失につながる場合もあるので、再生中は各種メディアや接続ケーブル等を取り外さないでください。接続機器の取り外しは、再生中であれば停止させた後、電源をオフにした状態で行なってください。
●パソコンと接続してデータ通信をしている最中は、機器破損や記録の損失につながるので、次のような行為は絶対にしないでください。
[USB 接続ケーブルや接続メディアの取り外し／本製品電源のオン・オフ操作や電源アダプタの取り外し／移動や乱暴な扱い等、本製品へ衝撃を与えること]
● 1 台のパソコンに複数の USB 機器を接続したり、分配用の USB ハブを介して接続したりしていると正常に動作できない場合があります。このような場合には、USB ハブなどの分配装置を取り除き、パソコンに単独で接続してください。

●本製品を持ち運んだり移動したりする場合は、必ず電源をオフにしてから、電源アダプターや各種配線、接続メディアを取り外した後に行なってください。通電した状態やメディアを接続した状態で本製品に衝撃を与えた場合､本製品の不具合を招くだけでなく、記録データの損失にもつながります。
●万が一故障や不具合が発生し、接続メディアのデータ損失や機会損失があった場合、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。
●本製品搭載の内蔵メモリは一部システム領域として使用されるため、記載の容量全てをデータ保存に使用することはできません。
●大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

再生可能なファイル

…写真や音楽､映像等のパソコンで作成したメディアやファイルの再生については､メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては再生できないものもあります。接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません、予めご了承ください。また、大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

・写真….jpg/.jpeg/.bmp
・音楽….mp3/.wma
・映像…
　ファイルフォーマット：.avi/.mpg/.mpeg/.dat
　ビデオコーデック：mpeg1/mpeg2/mpeg4
　音声コーデック：mp3/mpeg/lpcm/dolby/ac3/wma/adpcm

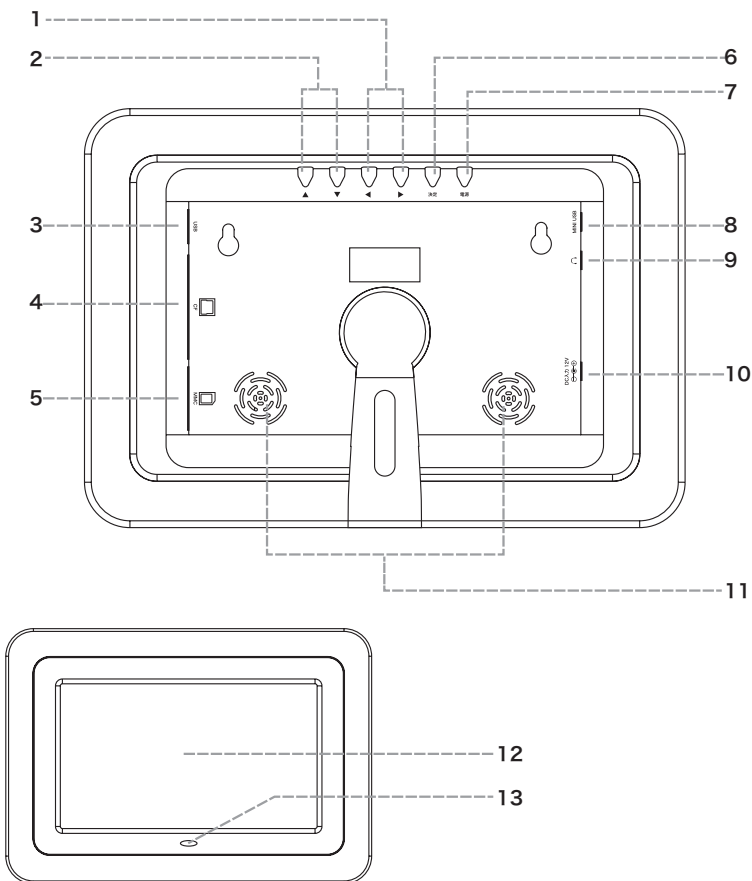
[補足：ファイル名について]
…ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されていると、正しく表示ができません。

あらかじめご了承いただきたいこと

- 本書の内容、本製品の仕様・外観等は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきまして万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り等、お気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
  （電話：0120-602-302…お問い合わせ先は、製品付属の保証書にてご確認ください）。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
- 万一、本製品の使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害・逸失利益・第三者からのいかなる請求につきまして、弊社では一切その責任を負えません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動から生じた故障や損傷に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 地震や雷の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては、弊社では一切の責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因する損害および逸失利益につきまして、弊社では一切の責任を負えません。
- 保証書への購入日・購入店の記載の無い物、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えません。
- 本製品は、一般家庭でのご使用を目的として製造されております。業務用（店舗や展示用の長時間連続使用等）としてご使用された場合、保証期間内であっても保証の対象外となります。
- 本製品は、日本国内での使用を想定して製造されています。海外でのご使用はサポート対象外とさせていただきます。

1 本体・リモコン各部機能

フォトフレーム本体／各部名称と機能

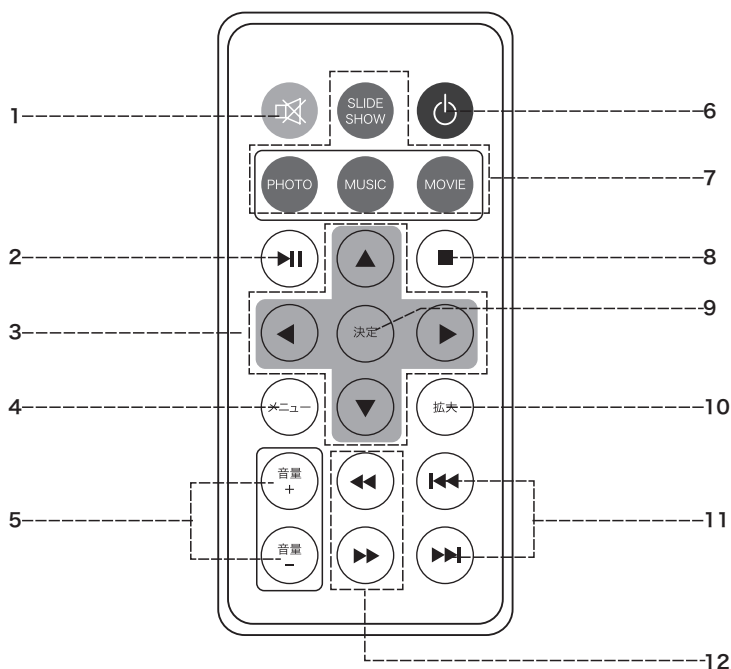
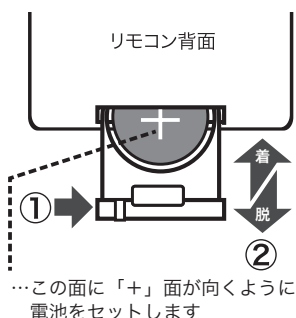
1
2
6
7
▲ ▼ ◀ ▶ 決定 電源
3 USB
4 CF
5 MMC
8 MINI USB
9
10 DC入力 12V
11

各部機能の紹介

※ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法、詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

NO.	名称	機能
1	左右ボタン	選択カーソルを左右に移動させたり、SETUP 画面内で設定を切り替えたりします。
2	上下ボタン	選択カーソルを上下に移動させたり、SETUP 画面内で設定項目を選択したりします。
3	USB 端子	USB 機器を接続します。
4	CF スロット	CF カードを接続します。
5	MMC スロット	MMC カードを接続します。
6	決定ボタン	選択した項目を確定します。
7	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
8	miniUSB 端子	付属のケーブルを用い、パソコンと接続するときに使用します。
9	イヤホン端子	イヤホンを接続します。
10	電源入力	付属の AC アダプタを用い、電源コンセントと接続します。
11	スピーカー	音声出力を行ないます。イヤホン接続時、及び消音設定時にはスピーカーからの音声出力はされません。
12	液晶画面	写真や映像を表示します。
13	リモコン受光部	リモコン操作は、こちらを向けて行ないます。

リモコン／各部名称と機能

リモコン用電池のセット／交換

…この面に「＋」面が向くように
電池をセットします

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は " ＋ " と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにセットしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

［注意］

各部機能の紹介

※ここでは各部の名称、及び簡単な機能の紹介をしました。詳細は各種使用方のページをご覧ください。

NO.	名称	機能
1	消音	音楽や映像・動画の再生中に一時的に音量を消します。 ボタンを押す毎に消音／出音が切り替わります。
2	再生／一時停止	ボタンを押すとファイルが再生されます。再生中はボタンを押す毎に一時停止／再生の動作が切り替わります。
3	方向	ファイル一覧画面ではファイルを選択、SETUP 画面では選択や設定の切り替えに使用します。
4	メニュー	ボタンを押す毎に、一つ前に表示させていた画面に戻ります。 ボタンを押し続けると、最終的にメニュー画面を表示させます。
5	音量	音楽や映像・動画の再生中に、音量の大小を調節します。
6	電源	電源のオン／オフを切り替えます。
7	ジャンプ	各再生モードにジャンプします。 [SLIDE SHOW]：写真・音楽同時再生モード [PHOTO]：写真再生モード　[MUSIC]：音楽再生モード [MOVIE]：映像再生モード
8	停止	再生中にボタンを押すと、停止します。
9	決定	ファイル一覧画面や SETUP 画面で、選択した項目を確定する時に使用します。
10	拡大	写真や映像を再生中に、画像の一部を拡大表示させます。 ボタンを押す毎に倍率が切り替わります。画像拡大中は方向ボタンを使用して、画面への表示領域を変更することができます。
11	頭出し（進／戻）	再生中に押すと、前後のファイルを頭出しします。
12	早送り／早戻し	再生中に押すと、早送り／早戻し再生をします。ボタンを押す毎に速度が切り替わります。

[リモコン用電池についての注意]

※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。

※初めてリモコン使用する場合、電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。

※長期間本製品を使用しない場合は、リモコンの電池を取り出して保管してください。

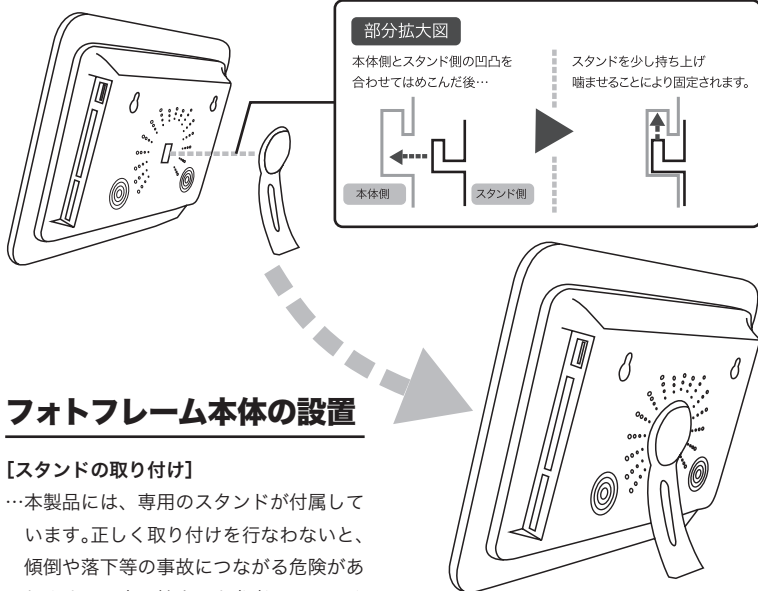
本体の設置と電源の接続

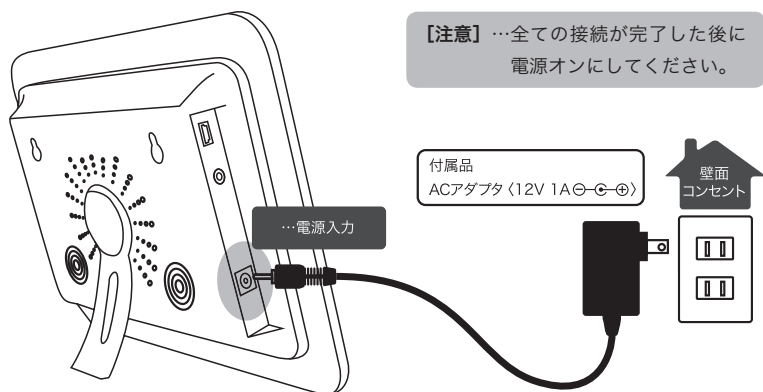
[この章の内容]

…フォトフレーム本体のスタンド設置方法、及び電源の接続方法をご紹介します。正しく設置を行なわないと、本体の傾倒・破損等につながります。電源については、本製品付属のアダプタを使用し適正電圧のコンセントに接続してください。

フォトフレーム本体の設置

[スタンドの取り付け]

…本製品には、専用のスタンドが付属しています。正しく取り付けを行なわないと、傾倒や落下等の事故につながる危険があります。図中の拡大図を参考に、正しく取り付けを行なってください。

電源の接続

付属の AC アダプタを使って、フォトフレーム本体側面の電源入力と、壁面のコンセントを接続します。

電源を入れる 基本的な操作

[この章の内容]

本章では写真やその他データの再生方法をご紹介します。

再生に関する以下の注意をご確認頂き、各種再生の紹介ページに進んでください。

メディアの挿入時、電源接続時の注意

●本製品に直接挿入することが可能なメディアカードは、MMC と CF カードです。その他のメディアカードを接続するときは、アダプタや USB カードリーダー等を介して行なってください。上記以外の方法での接続やカード以外の異物の挿入は機器の故障につながりますので、絶対におやめください。

●本製品に、各種メディアを接続する場合は、接触端子部の向きを確認した上で正しい向きで挿入してください。間違った向きやズレた位置で無理矢理挿入した場合、接触端子部が破損したり、挿入メディアが取り外せなくなったりします。

●記録データの損失につながる場合もあるので、再生中は各種メディアや接続ケーブル等を取り外さないでください。接続機器の取り外しは、再生中であれば停止させた後、電源をオフにした状態で行なってください。

●パソコンと接続してデータ通信をしている最中は、機器破損や記録の損失につながるので、次のような行為は絶対にしないでください。
[USB 接続ケーブルや接続メディアの取り外し／本製品電源のオン・オフ操作や電源アダプタの取り外し／移動や乱暴な扱い等､本製品へ衝撃を与えること]

● 1 台のパソコンに複数の USB 機器を接続したり、分配用の USB ハブを介して接続したりしていると正常に動作できない場合があります。このような場合には、USB ハブなどの分配装置を取り除き、パソコンに単独で接続してください。

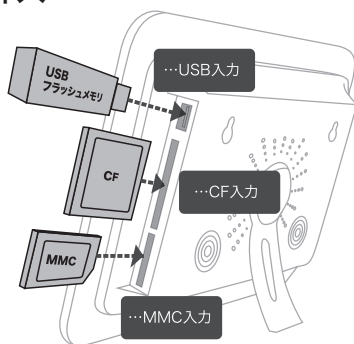
●大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

データ再生の手順

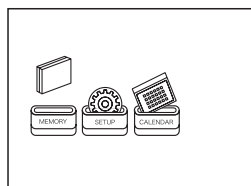
以下に紹介する手順で、再生させるメディアの挿入～電源の投入を行なってください。

手順 1 ：各種メディアの挿入

フォトフレームに各種メディアを挿入し、デジカメで撮った写真や USB フラッシュメモリ内の音楽データ等を読み込ませるときの接続方法です。

[カード・USB メモリの挿入方向]
…フォトフレームを図のように背面から見た時に、カードや USB フラッシュメモリのラベル面が手前にくる向きで挿入します。

[注意]：カード及び USB フラッシュメモリを挿入するときは、挿入方向に注意してください。間違った向きで挿入した場合、接続端子部が破損してしまったり、取り出しができなくなったりします。また、稀にメディアによっては接続端子やラベルの向きが上図とは異なる場合があります。挿入前に接続端子の向きを確認してください。

手順 2 ：接続完了後、電源を入れる

メディアの接続、及び前章で紹介した電源アダプタの接続が完了したら電源を入れます。
フォトフレーム本体上部の「電源ボタン」を押すと電源がオンになり、液晶画面上に「メニュー画面」が表示されます。

メニュー画面の操作

フォトフレームが起動すると、初期（メニュー）画面が表示されます。この画面から各種再生や設定を行ないます。まずは、メニュー画面内の操作を覚えてください。

メニュー画面内では、主に次のボタンを使用します

選択する　…「方向ボタン」を使用し、アイコンを選択します。選択状態にある項目は飛び上がって表示されます。図 A では一番左のアイコン「MEMORY」が選択されています。

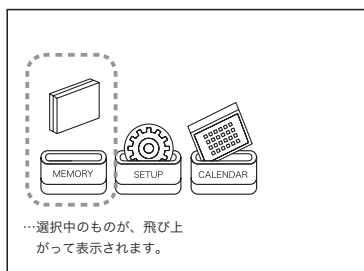
決定する　…項目選択後に「決定ボタン」を押すと、次の画面に進みます。

メニュー画面に戻る　…別の画面に進んだ後に、元々表示させていた画面に戻りたい時は「メニューボタン」を押します。ボタンを押す毎に一つ前の画面に戻り、続けて押すと最終的にメニュー画面が表示されます。

起動直後の画面

（画面 A）はメディアを何も挿入していない状態のメニュー画面です。

[MEMORY ／ SETUP ／ CALENDAR] の 3 つのアイコンが表示されています。

（画面 A）：初期メニュー画面

最初に表示されるアイコンは以下の 3 つです。本章ではまずメニュー画面内の操作をご紹介しますので、各操作の詳細は下に記載のページをご覧ください。

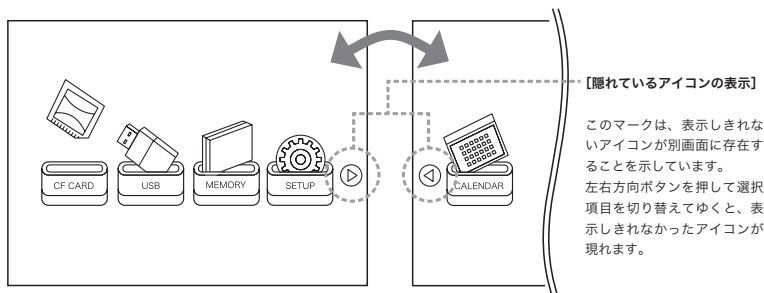
● **MEMORY**　：内蔵メモリの中身を表示させ、再生します。　…P31

● **SETUP**　：フォトフレーム使用に関する各種設定を行ないます。　…P38

● **CALENDAR**：カレンダーや時計を表示させます。　…P36

メディア挿入時の画面

（画面 B）は CF カードと USB フラッシュメモリを挿入した時の画面です。初期画面の 3 つのアイコンの他に、挿入メディアのアイコンが追加されました。

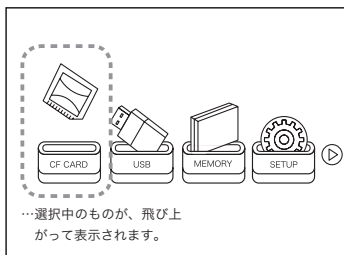
ここで紹介したように複数のメディアを挿入し一画面で収まらない場合には、図のように右端に「Ⓟ」が表示されます。左右ボタンで選択項目を移動させてゆくと、隠れていたアイコンが表示されます。

…続いて、挿入メディアの再生手順をご紹介します。

再生手順 1：再生するメディアを選ぶ

…（画面 B）から挿入済みの再生させたいメディアを選択します。選択確定すると（画面 C）に進みます。

（画面 B）：メディアを挿入した時のメニュー画面

CF CARD　USB　MEMORY　SETUP

…選択中のものが、飛び上がって表示されます。

再生手順 2：再生するデータの種類を選ぶ

…手順 1 が完了すると（画面 C）が表示されます。この画面では選択したメディア内にあるどの種類のデータを再生するかを選択します。

（画面 C）：再生データの種類選択画面

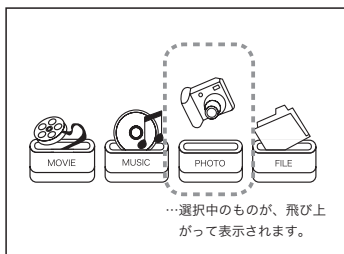
MOVIE　MUSIC　PHOTO　FILE

…選択中のものが、飛び上がって表示されます。

次ページへ続く

前ページからの続き

再生データ選択画面の内容

再生データの選択画面では、前の画面で選択したメディア内の特定の種類のデータだけを判別して表示させることができます。

例えば、下図で「PHOTO（写真を見る）」アイコンを選択し決定すると、選択したメディア内の写真や画像データだけを表示させることができます。主に多種類のデータが混在したメディアを接続しているときに、特定の種類のデータだけを表示させることができる便利な機能です。

[操作方法]

アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すと各々の再生画面に進みます。前に表示させていた画面に戻りたいときは、メニューボタンを押してください。各再生モードごとの詳細な操作は、記載のページに進んでご確認ください。

●映像を見る：P27

…動画データを再生します。

●全てのデータ：P30 を見る

…前の画面で選択したメディア内の全てのデータを表示します。

MOVIE MUSIC PHOTO FILE

●音楽を聴く：P23

…音楽データを再生します。

●写真を見る：P19

…写真や画像データを再生します。

4 各種再生操作の詳細

　前章では、本製品の基本的な操作についてご紹介しました。本章では、各種再生について具体的な操作方法をご紹介します。

※接続や各種メディアの挿入等、2･3 章をご確認頂いてから本章の内容をご覧ください。

①写真を見る：　P19

…写真や画像データを再生します。

②音楽を聴く：　P23

…音楽や音声データを再生します。

③写真を見ながら音楽を聴く：　P26

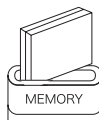
…選択したメディア内の写真、音楽データを同時に再生します。

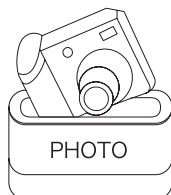
④映像を見る：　P27

…映像・動画データを再生します。

⑤全てのデータを見る：　P30

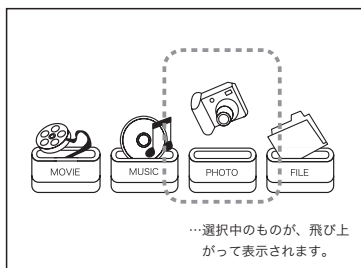
…選択したメディア内の全てのデータを表示・再生します。

⑥ MEMORY（内蔵メモリ）：　P31

…内蔵メモリの中身を表示、再生します。

①写真を見る

本製品で写真データを再生する方法をご紹介します。

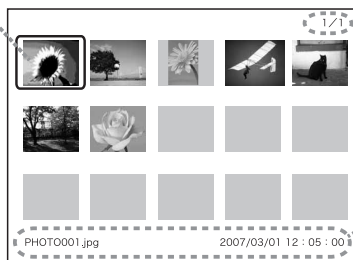
[注意]：ここでご紹介する方法は、挿入メディア内の写真や画像データだけを判別して表示・再生します。このため、挿入メディア内に音楽や映像データが入っていた場合でも、写真以外のデータは非表示の状態になります。メディア内の全データを確認したい場合は「⑤全てのデータを見る」をご覧ください。
また、再生ファイル形式については P4 の「再生可能なファイル」をご覧ください。

手順 1 ：「PHOTO」アイコンの選択

再生データ選択画面（画面 1-A）から「PHOTO（写真）」アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すと写真一覧画面が表示されます（画面 1-B)。

（画面 1-A）：再生データ選択画面

手順 2 ：写真一覧画面

挿入メディア内にある写真・画像データの一覧がプレビュー表示されます。

[選択データ]
現在選択されているデータは太枠で表示されています。
選択はリモコンの上下左右方向ボタンで移動することができます。
データを選択した状態で決定ボタンを押すと、写真再生が始まります。

（画面 1-B）：
写真・画像データ一覧画面

[写真一覧画面のページ数]
この表示は写真データ一覧画面のページ数を表しています。
1 ページに 15 個のデータのプレビュー表示が可能ですが、納まりきらない場合には複数画面に分割して表示します。
上下方向ボタンで別のページに移動することができます。

[選択データの情報]
現在選択されているデータの情報を表示しています。
表示内容は [ファイル名／ファイル作成日時] です。

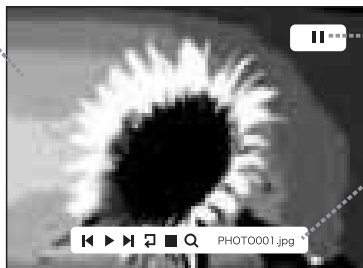
次ページへ続く

前ページからの続き

手順 3 ：再生中の操作

一覧画面で写真を選択し、決定ボタンを押すと写真の再生が始まります（画面 1-C)。

[再生画面]
手順：2 の一覧画面からデータを選択して決定ボタンを押すと、この写真再生画面が表示されます。

(画面 1 — C) :
写真・画像データ再生画面

[再生状態の表示]
一時停止や拡大等の再生状態を示す記号が表示されます。

[操作パネル]
この再生画面でリモコンの決定ボタンを押すと、画面下部に各種操作が行なえる操作パネルが表示されます。

…写真を表示させた時点では、上画面のように右上にマークが表示されてスライドショー再生が一時停止の状態になっています。再生ボタンを一度押すと、写真が順次切り替わるスライドショー再生が始まります。写真再生中の各種操作は、以下の通りです。

❶再生／一時停止

…写真再生中、ボタンを押す毎に再生／一時停止の動作が切り替わります。

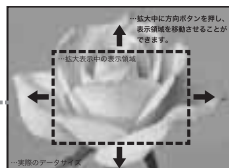
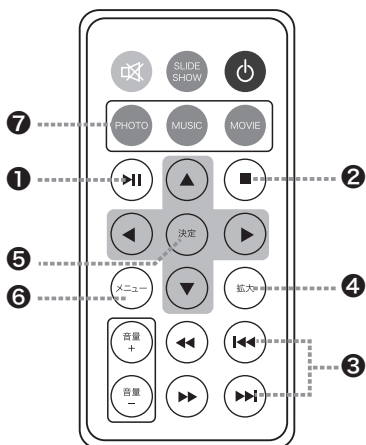
❷停止

…再生を中止し一覧画面に戻ります。

❸頭出し

…前、または次のファイルを表示します。

❹拡大

…拡大表示します。ボタンを続けて押すと倍率が変わります。拡大表示中は方向ボタンで表示領域を移動することができます。

❺操作パネル

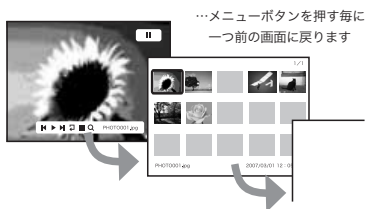
再生中に決定ボタンを押すと、画面下部に各種操作が行なえる「操作パネル」が表示されます。操作パネルはリモコンの方向･決定ボタンだけを使って視覚的に操作が可能です。

方向ボタンで操作パネル内のアイコンを選択後、決定ボタンを押すと各機能が動作します。

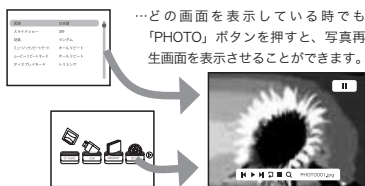
操作パネルは表示させたまま何も操作を行なわないと、自動的に画面から消えます。

❻前の画面に戻る

…再生中に押すと、写真一覧画面に戻ります。このメニューボタンを押す度に、一つ前に表示していた画面に戻ります。

押し続けると、最終的にはメニュー画面に戻ります（P14）。

❼写真再生画面にジャンプ

…通常、写真の再生中に使用することはありませんが、写真再生に関連した動作なのでこちらでご紹介しておきます。

「PHOTO」ボタンを押すと、どの画面を表示している最中でもこちらでご紹介している写真再生画面にジャンプすることができます。例えばSETUP画面を表示中、PHOTO ボタンを押すとすぐに写真再生画面を表示させることができます。

その際に表示される再生画面は、現在もしくは一番最後に選択していたメディア内のデータを対象とした再生画面です。

[注意]：選択しているメディア内に、対象ファイル（ここでは写真データ）が無い場合は、ボタンを押してもジャンプすることはできません。

[写真再生／補足]

…これまでにご紹介した写真の再生に関する補足と注意をこちらにまとめます。

[再生中の各種設定について]

SETUP 画面にて各種の設定が可能です。再生中画面の表示のさせ方やスライドショーの切り替わり時間、切り替わり方等各種の設定が可能です。

詳しくは［ 7.SETUP ～各種設定 ］をご覧ください。

[再生データについて]

ここでご紹介した方法は､挿入メディア内の写真や画像データだけを判別して表示･再生します。このため、挿入メディア内に音楽や映像データが入っていた場合でも、写真以外のデータは非表示状態になります。

接続メディア内の全てのデータを確認したい場合は｢④全てのデータを見る(P30)｣をご覧ください。

また､本書に記載してある再生可能な種類の写真や画像であっても､ファイルによっては表示できない場合もあります。

特にパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によって規格も多岐に渡るため、接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません。予めご了承ください。

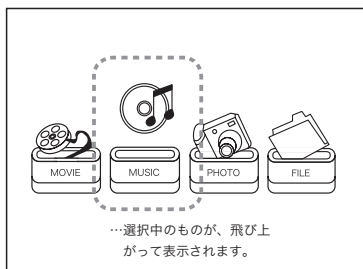
※動作に不具合がある場合等は、本書前半に記載の各種注意と併せて［故障かな？と思ったら（P46)］の内容をご確認ください。

②音楽を聴く

本製品で音楽データを再生する方法をご紹介します。

[注意]：ここでご紹介する方法は、挿入メディア内の音声・音楽データだけを判別して表示・再生します。このため、挿入メディア内に写真や映像データが入っていた場合でも、音声・音楽以外のデータは非表示の状態になります。メディア内の全データを確認したい場合は「⑤全てのデータを見る」をご覧ください。
また、再生ファイル形式については P4 の「再生可能なファイル」をご覧ください。

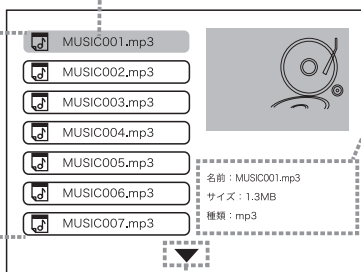
手順 1 ：「MUSIC」アイコンの選択

再生データ選択画面（画面 2-A）から「MUSIC（音楽）」アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すと音楽再生画面が表示されます（画面 2-B）。

（画面 2-A）：
再生データ選択画面

手順 2 ：音楽再生画面

挿入メディア内にある音楽・音声データの一覧が表示されます。

[選択されているデータ]
現在選択されているデータは色が反転して表示されます。
選択部分はリモコンの上下方向ボタンで移動することができます。
データを選択した状態で決定ボタンを押すと、音楽再生が始まります。

[音楽データ]
認識した音楽データの一覧が表示されます。左端にあるのが音声・音楽データを表すアイコンで、隣にファイル名が並んで表示されています。

（画面 2-B）：
音楽データ一覧画面

[選択データの情報]
現在選択されているデータの情報を表示しています。
表示内容は［ファイル名／ファイルのサイズ／ファイルの種類］です。

[画面移動] ファイルが多数有り、一画面で表示できない場合は複数ページに分割して表示されます。上下ボタンでページ間を移動させることができます。

次ページへ続く

手順３：再生中の操作

（画面２－C）：
音楽データ再生画面

…画面左半分のリストから上下ボタンでファイルを選択し、決定ボタンを押すと音楽が再生されます（画面 2-C）。
再生中の各種操作は、以下の通りです。

❶再生／一時停止

…写真再生中に押すと、一時停止します。
もう一度押すと再生が再開します。

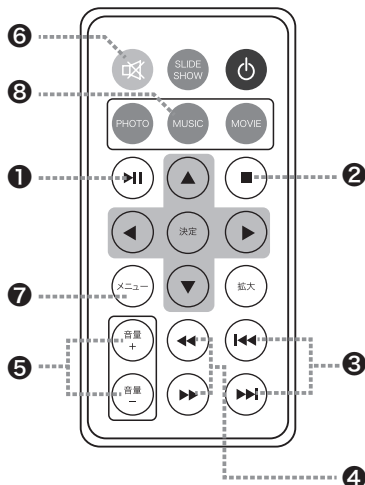
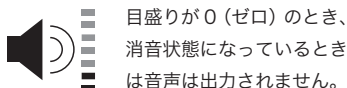
❷停止

…再生を中止し一覧画面に戻ります。

❸頭出し

…前、または次のファイルを再生します。

❹早送り／早戻し

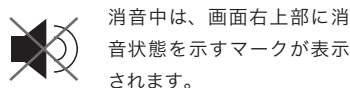
…再生中にボタンを押すと早送り／早戻しします。ボタンを押す毎に早送り／早戻し速度が「×2 ／ ×4 ／ ×8」と切り替わります。

❺音量調節

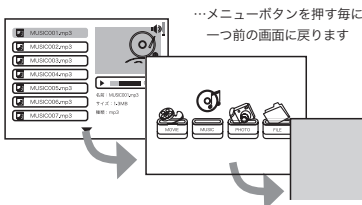
…音量＋／−ボタンを押すと音量が調節されます。操作中は、音量目盛りが画面右上部に現れます。

目盛りが０（ゼロ）のとき、消音状態になっているときは音声は出力されません。

❻消音

…消音ボタンを押すと、一時的に音声出力をゼロにします。ボタンを押す毎に出音／消音が切り替わります。

消音中は、画面右上部に消音状態を示すマークが表示されます。

❼前の画面に戻る

…再生中に押すと、再生データ選択画面に戻ります。このメニューボタンを押す度に一つ前に表示していた画面に戻ります。押し続けると、最終的にはメニュー画面に戻ります（P14）。

❽音楽再生画面にジャンプ

…「MUSIC」ボタンを押すと、どの画面を表示している最中でもこちらでご紹介している写真再生画面にジャンプすることができます。

[注意]：選択しているメディア内に、対象ファイル（ここでは音楽データ）が無い場合は、ボタンを押してもジャンプすることはできません。

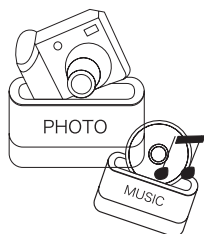
[音楽再生／補足]

…これまでにご紹介した音楽の再生に関する補足と注意をこちらにまとめます。

[再生データについて] ここでご紹介した方法は、挿入メディア内の音声や音楽データだけを判別して表示・再生します。挿入メディア内に写真や映像データが入っていた場合でも、これらのデータは非表示になります。全データを確認したい場合は「⑤全てのデータを見る（P30）」をご覧ください。

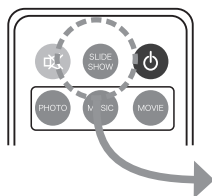
　また､本書に記載してある再生可能な種類の音声や音楽であっても､ファイルによっては表示や再生ができない場合もあります。

特にパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法､作成状況によって規格も多岐に渡るため､接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません。予めご了承ください。

③写真を見ながら音楽を聴く

選択したメディア内の写真データと音楽データを同時に再生することができます。この再生モードは、どの画面を表示させている最中でもボタン一つでジャンプすることができます。

[注意]：選択しているメディア内に、対象ファイル（ここでは写真と音楽データの両方）が無い場合は、ボタンを押してもジャンプすることはできません。
また、再生ファイル形式については P4 の「再生可能なファイル」をご覧ください。

手順 1 ：同時再生モードに入る

まず、リモコンの「SLIDE SHOW」ボタンを押します。画面右上に同時再生モードを示すアイコンが表示された後に写真が全画面表示になり、同時に音楽が再生されます。

（画面 3-A）：
写真・音楽同時再生モード画面

[同時再生モード]
「SLIDE SHOW」ボタンを押した直後に表示される、写真・音楽同時再生モードを示すアイコン。
一旦表示された後、自動的に消えます。

[操作パネル]
決定ボタンを押すと一時的に表示されます。操作方法は写真再生モードと同様です。

手順 2 ：再生画面内の操作

[写真再生に関する操作]

写真再生に関する基本的な操作は、写真再生モードと同様ですので「写真を見る」のページを参照してください（P19）。

[音楽再生に関する操作]

音楽再生に関する操作は限定されており、音量調節と消音だけが可能です。順番の指定やスキップ・早送り等の操作は行なえません。音量に関する操作は、音楽再生モードと同様です（P23）。

④映像を見る

MOVIE

映像・動画データを再生する方法をご紹介します。

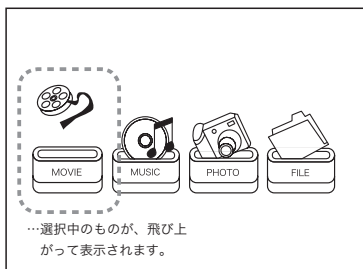
[注意]：ここでご紹介する方法は、挿入メディア内の映像・動画データだけを判別して表示・再生します。このため、挿入メディア内に写真や音声データが入っていた場合でも、映像・動画以外のデータは非表示の状態になります。メディア内の全データを確認したい場合は「⑤全てのデータを見る」をご覧ください。
また、再生ファイル形式についてはP4の「再生可能なファイル」をご覧ください。

手順１：「MOVIE」アイコンの選択

再生データ選択画面（画面4-A）から「MOVIE（映像）」アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すと映像動画再生画面が表示されます（画面4-B)。

（画面4-A）：再生データ選択画面

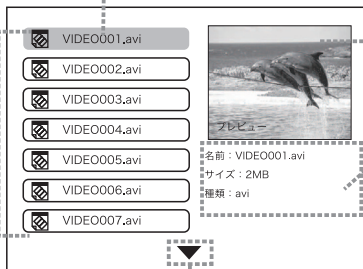
MOVIE　MUSIC　PHOTO　FILE

…選択中のものが、飛び上がって表示されます。

手順２：データ一覧画面

挿入メディア内にある映像・動画データの一覧が表示されます。

（画面4-B)：映像データ一覧画面

[選択されているデータ]
現在選択されているデータは色が反転して表示されます。
選択部分はリモコンの上下方向ボタンで移動することができます。
データを選択した状態で決定ボタンを押すと、映像再生が始まります。

[映像データ]
認識した映像データの一覧が表示されます。左端にあるのが映像・動画データを表すアイコンで、隣にファイル名が並んで表示されています。

[プレビュー画面]
現在選択されているデータのプレビュー画面が表示されます。

[選択データの情報]
現在選択されているデータの情報を表示しています。
表示内容は[ファイル名／ファイルのサイズ／ファイルの種類]です。

[画面移動] ファイルが多数有り、一画面で表示できない場合は複数ページに分割して表示されます。上下ボタンでページ間を移動させることができます。

次ページへ続く

前ページからの続き

手順３：再生中の操作

一覧画面で映像データを選択し、決定ボタンを押すと再生が始まります（画面 4-C）。

［再生画面］
手順：2 の一覧画面からデータを選択して決定ボタンを押すと、映像が再生されます。

(画面４－C)：
映像データ再生画面

［操作内容の表示］
音量調節、スキップ、早送り／早戻し等の各種再生中の操作内容を画面右上部に表示します。

…再生中の各種操作は、以下の通りです。

❶再生／一時停止

…映像再生中に押すと、一時停止します。もう一度押すと再生が再開します。

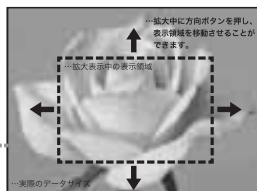
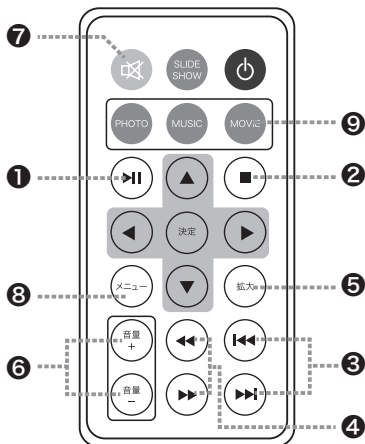
❷停止

…再生を中止し一覧画面に戻ります。

❸頭出し

…前、または次のファイルを表示します。

❹早送り／早戻し

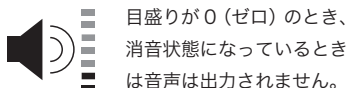
…再生中にボタンを押すと早送り／早戻しします。ボタンを押す毎に早送り／早戻し速度が「×2 ／ ×3 ／ ×4」と切り替わります。

❺拡大

…拡大表示します。ボタンを続けて押すと倍率が変わります。拡大表示中は方向ボタンで表示領域を移動することができます。

❻音量調節

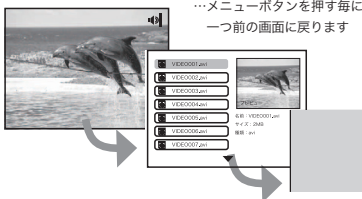
…音量＋／–ボタンを押すと音量が調節されます。操作中は、音量目盛りが画面右上部に現れます。

目盛りが０（ゼロ）のとき、消音状態になっているときは音声は出力されません。

❼消音

…消音ボタンを押すと、一時的に音声出力をゼロにします。ボタンを押す毎に出音／消音が切り替わります。

消音中は、画面右上部に消音状態を示すマークが表示されます。

❽前の画面に戻る

…再生中に押すと、再生データ選択画面に戻ります。このメニューボタンを押す度に一つ前に表示していた画面に戻ります。押し続けると、最終的にはメニュー画面に戻ります（P14）。

❾映像再生画面にジャンプ

…「MOVIE」ボタンを押すと、どの画面を表示している最中でもこちらでご紹介している写真再生画面にジャンプすることができます。

[注意]：選択しているメディア内に、対象ファイル（ここでは映像・動画データ）が無い場合は、ボタンを押してもジャンプすることはできません。

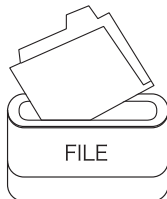
[映像再生／補足]

…これまでにご紹介した映像の再生に関する補足と注意をこちらにまとめます。

[再生データについて]

ここでご紹介した方法は、挿入メディア内の映像･動画データだけを判別して表示･再生します。挿入メディア内に写真や音楽データが入っていた場合でも、これらのデータは非表示になります。全データを確認したい場合は「⑤全てのデータを見る（P30）」をご覧ください。また、本書に記載してある再生可能な種類の映像･動画であっても、ファイルによっては表示や再生ができない場合もあります。

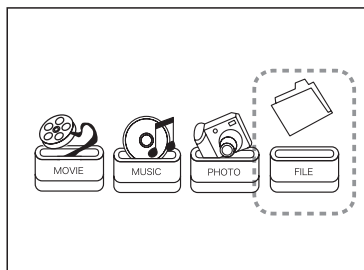
特にパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によって規格も多岐に渡るため、接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません。予めご了承ください。

⑤全てのデータを見る

メディア内の全てのデータを再生させる方法をご紹介します。

　これまでの①〜④では、指定したメディア内の特定のデータだけを表示・再生させる操作についてご紹介してまいりました。
　この項目では、指定したメディア内の全てのデータを確認、再生したい場合に使用します。①〜④の操作のときは不可視になっていたフォルダによる区切りや、階層構造がそのまま表示されます（データがフォルダにより整理されている場合）。

手順 1 ：「FILE」アイコンの選択

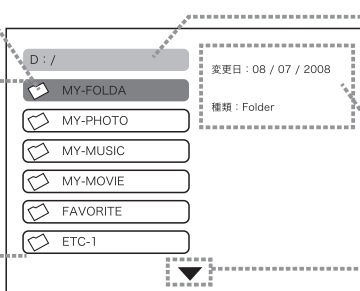
　再生データ選択画面（画面 5-A）から「FILE（ファイル）」アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すとデータ一覧画面が表示されます（画面 5-B）。

MOVIE　MUSIC　PHOTO　FILE

（画面 5-A）：再生データ選択画面

手順 2 ：データ一覧画面

　指定メディア内の全データの一覧が表示されます。

［選択されているデータ］
現在選択されているデータは色が反転して表示されます。選択部分はリモコンの上下方向ボタンで移動することができます。データを選択した状態で決定ボタンを押すと、中身データが表示されます。

［映像データ］
指定したメディア内のデータの一覧が表示されます。左端にあるのがフォルダを示すアイコンで、隣にフォルダ名が並んで表示されています。

（画面 5-B）：データ一覧画面

［データの場所や階層］
選択されているデータ（フォルダ）の階層を表示します。

［選択データの情報］
選択されているデータ（フォルダ）の情報を表示しています。表示内容は［データ更新日時／ファイル種類］です。

［画面移動］ フォルダが多数有り、一画面で表示できない場合は複数ページに分割して表示されます。上下ボタンでページ間を移動させることができます。

手順３ ：操作方法

この画面からデータを再生するときの操作についてご紹介します。

指定メディア内の全データの一覧（画面 5-B）から、方向ボタンと決定ボタンを使用して階層を降り目的のファイルまで到達すると、ファイルの再生が始まります。

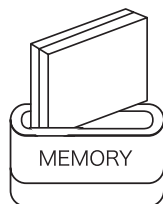
ファイルの種類によって再生や操作方法が異なります。データの種類に合わせて、前のページでご紹介している①・②・④の内容をご確認ください。

写真データの再生 → P19 …①写真を見る、のページをご覧ください。

音声データの再生 → P23 …②音楽を聴く、のページをご覧ください。

映像データの再生 → P27 …④映像を見る、のページをご覧ください。

一覧画面左端にある､ファイル種類を示すアイコン

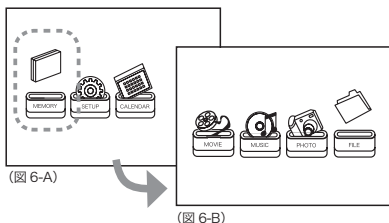
⑥内蔵メモリ

内蔵メモリ内にあるデータを表示･再生させる方法をご紹介します。

[注意]：本製品の内蔵メモリにデータが何も無い状態では、表示されません。内蔵メモリへのアクセスやデータ転送の方法は［5. パソコンとの接続、データの転送］にてご確認ください。

手順１ ：「MEMORY」アイコンの選択

メニュー画面（図 6-A）より［MEMORY（内蔵メモリ）］アイコンを選択し、決定ボタンを押すと、再生データ選択画面（図 6-B）が表示されます。

その後、データ一覧画面が表示され、再生等の手順は前の項目：⑤全てのデータを見る、と同様になります。

(図 6-A)
(図 6-B)

5 パソコンとの接続 データの転送

本製品は、内蔵メモリ搭載しています。付属の miniUSB ～ USB ケーブルでパソコンと接続し、パソコン内のデータを内蔵メモリに転送したり、内蔵メモリの中のデータを整理（コピーや削除）したりすることができます。

…本章では、次の内容をご紹介します。

①パソコンとの接続：P33

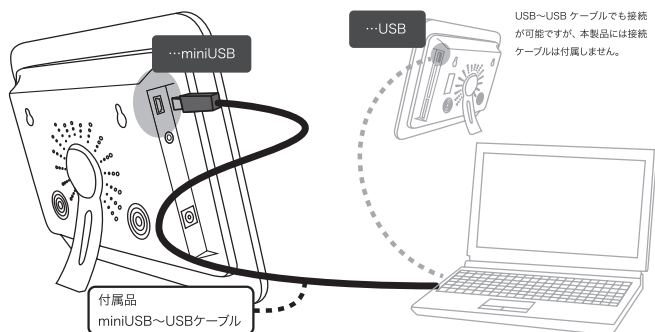
…付属の miniUSB ～ USB ケーブルを使った、フォトフレームとパソコンの接続手順を紹介します。

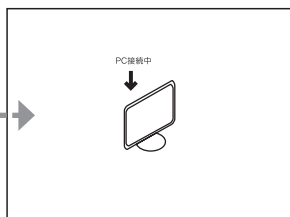
②内蔵メモリ・挿入メディア間のデータ転送：P34

…パソコンを接続しないでも、内蔵メモリと挿入メディアの間でデータのコピーや削除等の操作が可能です。

※パソコンとの接続やデータ転送、及び内蔵メモリ～挿入メディア間のデータ転送について…　万が一故障や不具合が発生し、接続パソコン、メディアや内蔵メモリ中のデータ損失や機会損失があった場合でも、その補償については弊社では責任を負いかねます。予めご了承ください。

①パソコンとの接続

パソコンと接続し、本製品内蔵メモリにアクセスする場合の接続です。フォトフレームの電源はオフにした状態で行なってください。付属のminiUSB～USBケーブルを使って、フォトフレーム側面のminiUSB端子と、パソコンのUSB端子を接続します。

[フォトフレーム液晶画面の表示]

…接続が完了したら、フォトフレーム電源をオンにします。
フォトフレームの液晶画面にパソコンと接続中であることを示す、右図のような表示が現れます。

…上の画面を確認できたら､接続パソコン上でコピーや転送等の操作を行なってください。

[パソコンからのデータ転送に関して]

●接続パソコンの推奨動作環境は、Windows XPです。

●ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されていると､正しく表示ができません。

●パソコンと接続してデータ通信をしている最中は、機器破損や記録の損失につながるので、次のような行為は絶対にしないでください。
[USB接続ケーブルや接続メディアの取り外し／本製品電源のオン・オフ操作や電源アダプタの取り外し／移動や乱暴な扱い等、本製品へ衝撃を与えること]

●1台のパソコンに複数のUSB機器を接続したり、分配用のUSBハブを介して接続したりしていると正常に動作できない場合があります。このような場合には、USBハブなどの分配装置を取り除き、パソコンに単独で接続してください。

②内蔵メモリ・挿入メディア間のデータ転送

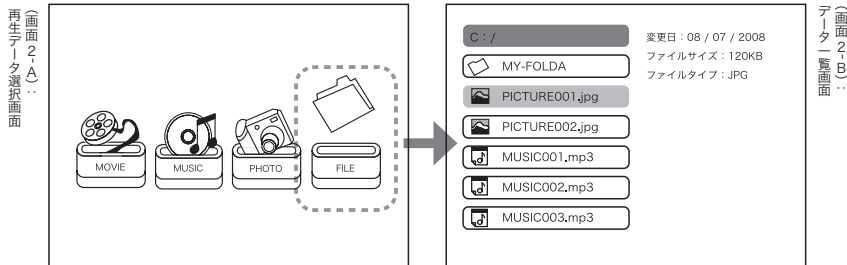
…パソコンを接続しないでも、内蔵メモリと挿入メディアの間でデータのコピーや削除等の操作が可能です。

[注意]：この操作は「全データ表示画面」でしか行なえません。

手順１ ：「FILE」アイコンの選択

再生データ選択画面（画面 2-A）から「FILE（ファイル）」アイコンを左右方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すとデータ一覧画面が表示されます（画面 2-B）。

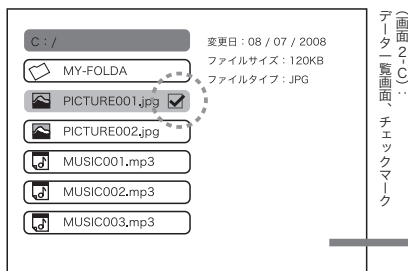
（画面２-Ａ）：再生データ選択画面

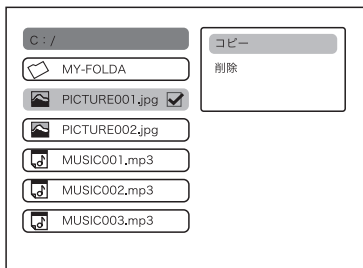
（画面２-Ｂ）：データ一覧画面

手順２ ：データのコピー（複製）と削除

❶ファイルを選択する

ファイル一覧画面で、コピーもしくは削除したいファイルを選択後に右方向ボタンを押すと、ファイル名の右端にチェックマーク☑が入ります。

チェックマークを解除したいときは、もう一度右方向ボタンを押してください。

（画面２-Ｃ）：データ一覧画面、チェックマーク

❷拡大ボタンを押す

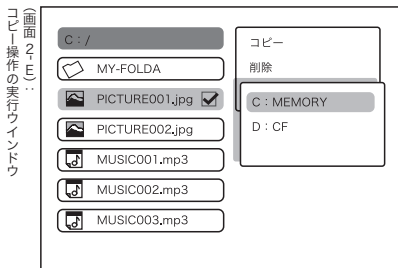
チェックマークが入った状態でリモコンの拡大ボタンを押すと、画面右側にコピーと削除を選択するウインドが表示されます。
どちらか一方を選択して決定ボタンを押してください。

（画面 2-D）：コピー・削除の選択ウインドウ

[コピー（複製）]

❸コピー先を選択します

コピーを選択後、決定ボタンを押すと画面右下に「コピー先選択ウインドウ」が表示されます。
ここでコピー先を方向ボタンで選択し、決定ボタンを押すとコピーが開始されます。

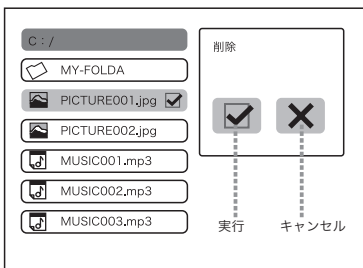
※コピー先は挿入しているメディアの数だけ表示されます。

C：/
MY-FOLDA
PICTURE001.jpg
PICTURE002.jpg
MUSIC001.mp3
MUSIC002.mp3
MUSIC003.mp3
コピー
削除
C：MEMORY
D：CF

（画面 2-E）：コピー操作の実行ウインドウ

[削除]

❸削除を実行します

削除を選択後、決定ボタンを押すと画面右側に「操作確認ウインドウ」が表示されます。
実行を選択し、決定ボタンを押すとファイルの削除が実行されます。

※削除を実行した後は、元に戻すことはできません。ご注意ください。

（画面 2-F）：削除操作の実行ウインドウ

6 時計・アラーム カレンダー機能

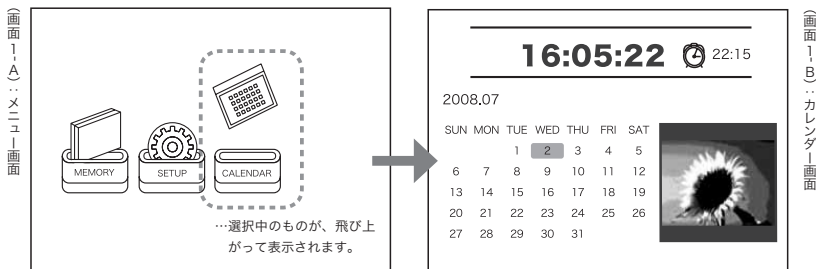
本製品の液晶画面は写真を表示させるだけでなく、時計やカレンダーを表示させたり、アラームの機能を使用することができます。

[注意]： 本章の時計・カレンダー・アラーム機能を使用する前に、SETUP 画面で現在日時を設定する必要があります。
カレンダーを使用する前にあらかじめ［7. SETUP ～各種設定］の項目「時間」の設定をしてください。また、日時の設定は電源をオフにするとリセットされますのでご注意ください。

カレンダー画面の操作

以下の手順で、カレンダー画面の操作を行なってください。

手順 1 ：「CALENDAR」アイコンの選択

メニュー画面（画面 1-A）から「CALENDAR（カレンダー）」のアイコンを選択し決定ボタンを押すと、カレンダー画面（画面 1-B）が表示されます。

手順２：カレンダー画面の内容・操作

[時間表示]
現在の時刻が 24 時間単位で表示されます（SETUP 画面で設定されている日時）。
左から順に［時／分／秒］と並んでいます。

[カレンダー表示]
カレンダー画面を開いた時点では、現在の日時にあたる月が表示されています（SETUP 画面で設定されている日時）。
方向ボタンにより、翌・前年、翌・前月の表示に移動することができます。

16:05:22　22:15

2008.07

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

（画面 1-B）：カレンダー画面

[アラーム]
アラームが設定されている場合は、図のように時計のマークの隣に設定時間が表示されます（表示されるのは SETUP 画面のアラームで設定されている時間です）。

[プレビュー画像]
内蔵メモリに写真データを入れている場合には、ここに小さく写真が挿入されます。
内蔵メモリが空の場合は何も表示されません。

カレンダー画面では、主に次のボタンを使用します

左右方向ボタン　…ボタンを押す毎に、現在の表示と隣合う月のカレンダー表示に移動します。[右：進む／左：戻る]

上下方向ボタン　…ボタンを押す毎に、現在の表示と隣合う年のカレンダー表示に移動します。[上：翌年／下：前年]

メニュー画面に戻る　…メニュー画面に戻りたい時は「メニューボタン」を押します（ボタンを押す毎に一つ前に表示させていた画面に戻ます）。

[カレンダー機能／補足]

●時計・カレンダー機能・アラーム機能をご使用の前には、SETUP 画面で日時の設定をする必要があります。また、日時の設定は電源をオフにするとリセットされます。

7 SETUP ～各種設定

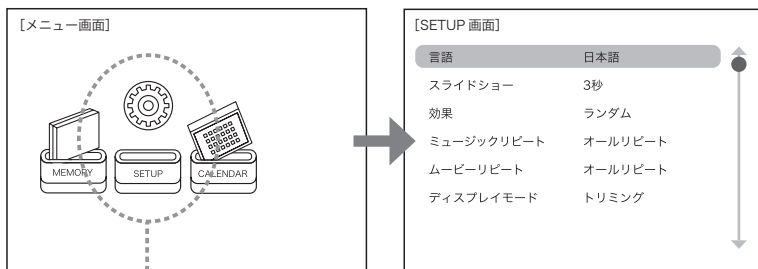
フォトフレームを使用するにあたり、各種の設定が行なえます。ほとんどが任意の設定です。ご使用環境や好み、必要に応じて設定を行なってください。

※上で説明した通りに多くは任意の設定ですが「カレンダー／時計／アラーム」機能を使用する場合には、ここで紹介する SETUP 画面内「時間」項目の設定が必要です。

SETUP 画面での操作

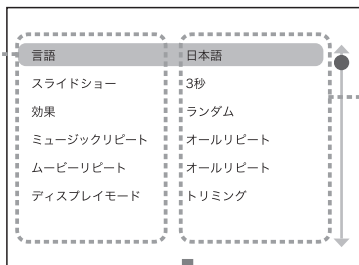
まずは SETUP 画面の表示方法と、おおまかな操作方法をご紹介します。操作の詳細は各種設定のページにてご確認ください。

手順 1 ：SETUP 画面の表示

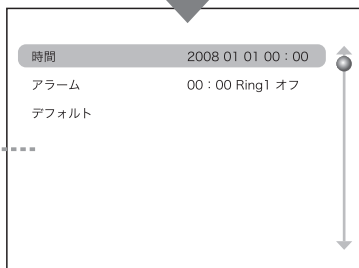
SETUP 画面を表示させます。メニュー画面から方向ボタンで「SETUP」アイコンを選択後、決定ボタンを押すと SETUP 画面が表示されます。

メニュー画面はリモコンの「メニューボタン」を押すと表示されます。メニュー画面内では、選択状態にあるアイコンが飛び上がって表示されます。

手順 2 ：SETUP 画面内の説明

黄色い表示のものが選択状態にある SETUP 項目。
上下方向ボタンで選択行を移動します。
「ディスプレイ」のところまで下りて更に下方向ボタンを押すと、一画面で表示しきれなかった SETUP 項目 (時間項目以下のもの) が表示されます。

言語	日本語
スライドショー	3秒
効果	ランダム
ミュージックリピート	オールリピート
ムービーリピート	オールリピート
ディスプレイモード	トリミング

現在設定されている項目が表示されています。
黄色く表示された選択状態にあるときに左右方向ボタンを押すと、設定項目が切り替わります。
選択した後に決定ボタンを押すと確定し、機能が切り替わります。

時間	2008 01 01 00：00
アラーム	00：00 Ring1 オフ
デフォルト	

下方向ボタンを押して下へ移動してゆくと、一画面で表示しきれなかった SETUP 項目が現れます。

[セットアップ画面内の表示内容は次の通りです]

- ●画面内の左半分：SETUP 項目
- ●画面内の右半分：現在設定されている項目
- ●黄色い四角で囲まれている行：選択状態にある SETUP 項目。この状態のとき、設定の切り替えが可能です。

[SETUP 画面内で使用するリモコンボタンは、次の通りです]

- ●メニューボタン：SETUP 画面を閉じて、メニュー画面に戻ります。
- ●上下方向ボタン：画面の左半分が設定項目、設定する項目を選択します。
- ●左右方向ボタン：設定を切り替えます。
- ●決定ボタン：左右方向ボタンで選択した項目の確定。決定ボタンを押すことで設定の切り替えが行なわれます。

次ページより、SETUP 画面内で切り替え可能な各種設定をご紹介します。

SETUP 項目とその操作方法

…前のページでは SETUP 画面内での操作をおおまかにご紹介しました。ここでは、各種設定の詳細についてご紹介します。
図の画面 A・B が SETUP 項目の全てです。AB 画面間は上下ボタンを押すと行き来することができます。
各種設定や切り替えを行なう場合は、図中の表示番号①〜⑨とページ下段の操作説明を併せてご確認ください。

①画面表示言語の切替

画面表示に使用する言語を切り替えます。
SETUP 画面内一番上の「言語」を上下方向ボタンで選択します。
左右方向ボタンを押すと、切り替え可能な言語が順に現れます。次の中から選択が可能です。

●日本語
●英語

選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、表示言語が切り替わります。

②スライドショー切り替わり時間

写真データをスライドショー再生する際の、写真の切り替わり速度を設定します。
SETUP 画面内の「スライドショー」を上下方向ボタンで選択します。
左右方向ボタンを押すと、設定可能な間隔が順に現れます。次の中から設定が可能です。

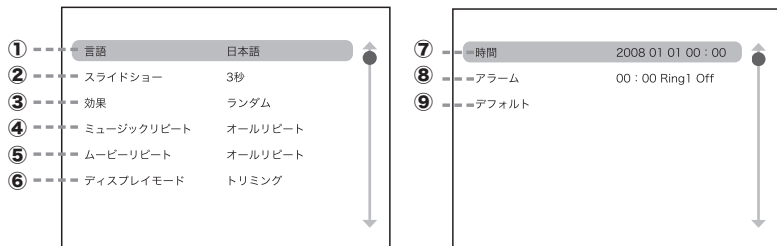
●3 秒　●5 秒　●15 秒　●1 分
●15 分　●1 時間　●6 時間

選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、切り替わり速度が設定されます。

③効果

写真データをスライドショー再生する際の、写真の表示方法を設定します。
SETUP 画面内の「効果」を上下方向ボタンで選択します。左右方向ボタンを押すと、設定可能な表示方法が順に現れます。次の中から選択してください。

●ランダム	●ランダム 2	●下から上へ	●上から下へ
●左から右へ	●右から左へ	●クローズ	●オープン
●水平クロス	●垂直クロス	●フェード	●上から拡張
●下から拡張	●中央から拡張	●左から拡張	●右から拡張
●ズームイン	●オフ		

選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、表示方法が切り替わります。

④ミュージックリピート

音楽データを再生する際の、繰り返し動作を設定します。

SETUP 画面内の「ミュージックリピート」を上下方向ボタンで選択します。

左右方向ボタンを押すと、設定可能な繰り返し再生の仕様が順に現れます。次の中から設定が可能です。

●オールリピート：
選択しているデータフォルダ内の全ての音楽データを繰り返します。

●リピートオフ：
繰り返し再生をしません。

●リピート：
再生中の 1 つの音楽データを繰り返します。

選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、繰り返し仕様が切り替わります。

⑤ムービーリピート

動画・映像データを再生する際の、繰り返し動作を設定します。

SETUP 画面内の「ムービーリピート」を上下方向ボタンで選択します。

左右方向ボタンを押すと、設定可能な繰り返し再生の仕様が順に現れます。次の中から設定が可能です。

●オールリピート：
選択しているデータフォルダ内の全ての動画データを繰り返します。

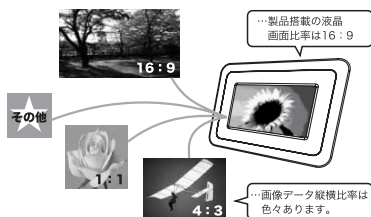
●リピートオフ：
繰り返し再生をしません。

●リピート：
再生中の 1 つの動画データを繰り返します。

選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、繰り返し仕様が切り替わります。

⑥ディスプレイモード

本製品の液晶画面枠の縦横比率は、16：9です。これに対し、写真や画像データの縦横比率は16:9や4:3、その他作成データによってマチマチです。

この比率の異なるデータを液晶画面内にどう収めるかを、ここでご紹介する「ディスプレイモード」の設定で切り替えることができます。

[注意]：データによってはディスプレイモードの設定を切り替えても、本ページでご紹介している通りの表示にならない場合もあります。

[切り替え方法]

SETUP画面内の「ディスプレイモード」を上下方向ボタンで選択します。

左右方向ボタンを押すと、切り替え可能な表示方法が順に現れます。次の中から選択が可能です。選択ができたら決定ボタンを押して確定すると、表示方法が切り替わります。

[説明図について]

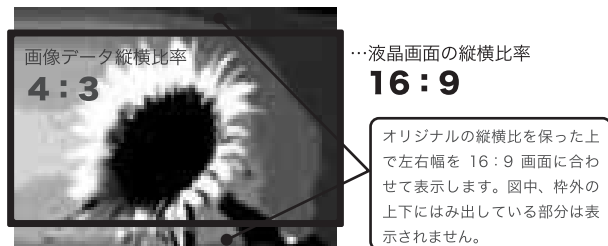
以降の説明では、次の2つの画像を元に説明をしてゆきます。16：9比率の本製品液晶画面を見立てた黒い枠と、4：3比率の画像データです。各切り替えによって比率の違う画像データが液晶画面内にどのように表示されるかを確認してください。

液晶画面の縦横比率
16：9

●トリミング：

16：9の液晶画面枠に対して、画像データの左右幅を画面一杯に合わせ後に上下の表示しきれない部分を裁ち落とします。画像データの縦横比率は変わりません。

…液晶画面の縦横比率
16：9

オリジナルの縦横比を保った上で左右幅を 16：9 画面に合わせて表示します。図中、枠外の上下にはみ出している部分は表示されません。

●**ストレッチ：**

画像データをオリジナルの縦横比を保った上で、16：9 の液晶画面枠に対して最大のサイズで表示させせます。

…液晶画面の縦横比率
16：9

オリジナルの縦横比を保った上で画面一杯に表示します。図中枠内の左右両端部分のように、画像の足りないところは黒い背景が表示されます。

●**シネマ：**

16:9 の液晶画面枠に対して、画像データを画面一杯に引き延ばして表示させせます。画像データの縦横比率は伸縮されます。

…液晶画面の縦横比率
16：9

4：3比率の画像データは16：9の画面枠一杯に引き延ばされます。オリジナルの縦横比率は伸縮されます。

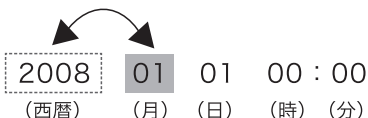
⑦時間

現在の日時を設定します。本製品のカレンダーやアラーム機能を使用する場合は、あらかじめここで日時の設定をする必要があります。

SETUP 画面内の「時間」を上下方向ボタンで選択します。

［注意］：項目、時間は SETUP 画面を開いた段階では表示されていません。画面を下にスクロールしていくと現れます。

左右方向ボタンを押すと選択カーソルが ［ 年／月／日／時／分 ］ と移動しますので、各々上下方向ボタンで日時を設定してゆき、最後に決定ボタンを押して確定してください。

2008 01 01 00：00
（西暦） （月） （日） （時） （分）

※電源を落とすと日時の設定は初期化されます。カレンダーやアラーム機能をご使用の際はご注意ください。

⑧アラーム

指定した時刻にアラーム機能を作動させます。

※アラーム機能を使用する前に、SETUP 画面内の項目「時間」で現在日時を設定する必要があります。また、電源をオフにすると設定した日時は初期化されます。

上下方向ボタンで「アラーム」を選択します。

[注意]：項目、アラームは SETUP 画面を開いた段階では表示されていません。画面を下にスクロールしていくと現れます。

左右方向ボタンを押すと選択カーソルが［ 時／分／アラーム音種類／オン・オフ、または繰り返し ］と移動しますので、各々上下方向ボタンで設定してゆき、最後に決定ボタンを押して確定するとアラームが設定されます。

（音）について

アラーム音の種類は 2 種類有り、Ring1 と Ring2 から選択できます。

（オン・オフ、繰り返し）について

オフ　：アラーム設定オフ

一回　：一回だけアラームを作動させます

毎日　：毎日指定した時間にアラームを作動させます。

⑨デフォルト

本製品の設定を、ご購入頂いた状態に戻します。

上下方向ボタンで「デフォルト」を選択した後、決定ボタンを押すとデフォルトが実行されます。

[注意]：項目、デフォルトは SETUP 画面を開いた段階では表示されていません。画面を下にスクロールしていくと現れます。

8 故障かな？ と思ったら

主な不具合の原因と、その解決方法

本体が起動しない

●本体の電源ボタンを押して、液晶画面の反応を確認してください。
点灯していなければ、電源ケーブルの配線を確認してください。また、電圧の合ったコンセントにしっかりりと差し込まれているかを確認してください。

リモコンが効かない

●リモコン用の電池はセットされていますか？　また、電池の極性は正しくセットされていますか？　（→ P08 参照）
●ご購入頂いた時点では、電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれています。挟まったままの場合は取り外してください。
●製品に付属しているリモコン用電池は、動作確認用のものです。このため、すぐにバッテリー切れになる場合がありますので、通常ご使用になる分は、別途ご用意ください。リモコンに使用する電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。
●リモコン操作は、本体のリモコン受光部に向けて行なってください。

ボタン操作の反応が鈍い

●データの読み込みには、多少時間がかかります。特に重たいデータの処理中は、読み込みに時間がかかります。この状態のときに操作を繰り返し行なうと、後で全ての操作が反映され思わぬ誤作動を起こす場合があります。重たいデータを扱う場合は、ゆっくりと反応を見ながら次の操作を行なうようにしてください。

映像や音声が正常に出力されない

●次のようなとき、本体のスピーカーから音声は出力されません。
[イヤホンを接続している／音量が 0 になっている／消音ボタンが押されている]
●本書に記載のある再生可能なメディアやファイル形式であっても、正常に読み込みできない場合もあります。
データの読み込みはメディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては正常に再生できない場合もあり、接続する全てのメディアやファイルの動作を保証することはできません、予めご了承ください。

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P02 ～ 05 に記載の注意書き、および本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

アラームが正しく動作しない

●お買い上げ後、現在時刻の設定はお済みですか？　時刻を設定していないと、アラームが正しく動作しません。時刻の設定は SETUP 画面内の「時間」から行なってください（P43 参照）。

● SETUP 画面内の項目「アラーム」でアラーム時刻を設定しても、同項目内一番右にある「繰り返し仕様」がオフになっていると、アラーム機能は動作しません。

●時刻の表示、及びアラーム時刻の設定は 24 時間表示のものです。設定の際にはご注意ください。

画面の表示言語が外国語になっている

● SETUP 画面内の「言語」設定で表示言語の切り替えが可能です（P40 参照）。

写真の切り替え時間が早すぎる

●写真再生中の切り替わり時間は SETUP 画面内の「スライドショー」で設定することができます（P40 参照）。

特定の種類のデータしか表示されない

●本製品には特定の種類のデータを限定して、表示・再生を行なう再生画面を設けています。もしもメディア内の全てのデータを表示・再生したい、もしくは確認したい場合は「全てのデータを見る（P30）」をご覧ください。

設定の初期化

●機器の設定がうまくいかないときや設定を見直したいときは、一度初期化して、お買い上げ頂いた状態に戻すことで改善される場合があります。初期化を行なうと購入後に設定した日付や時刻、表示言語等の項目はリセットされます。必要に応じて再設定をしてください。

セットアップボタンを押して表示される、セットアップ画面内「デフォルト」を行なってください（P44 参照）。

データが表示できない、読み込めない！？

…写真や音楽、映像等のパソコンで作成したメディアやファイルの再生については、メディア種類やファイルエンコード方法、作成状況によっては正常に再生できない、または読み込めないものもあります。このため接続する全てのメディアやファイル形式の動作を保証することはできません、予めご了承ください。また、大容量の記録メディアを挿入した場合は読み込みに時間がかかる、もしくは認識できない場合があります。

[直接挿入が可能なメディア]

・MMC　　・CF　　・USB フラッシュメモリ

…本製品に直接挿入することが可能なメディアは MMC と CF カード、USB フラッシュメモリです。その他のメディアカードを接続するときは、アダプタや USB カードリーダー等を介して行なってください。上記以外の方法での接続やカード以外の異物の挿入は接触端子部が破損したり、取り出しができなくなってしまう等、機器の故障につながりますので絶対におやめください。

[再生可能なファイル]

・写真….jpg/.jpeg/.bmp
・音楽….mp3/.wma
・映像…
ファイルフォーマット：.avi/.mpg/.mpeg/.dat
ビデオコーデック：mpeg1/mpeg2/mpeg4
音声コーデック：mp3/mpeg/lpcm/dolby/ac3/wma/adpcm

[補足：ファイル名について]
…ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されていると、正しく表示ができません。

内蔵メモリの容量

●本製品搭載の内蔵メモリは一部システム領域として使用されるため、記載の容量全てをデータ保存領域として使用することはできません。

製品仕様／お問い合わせ

製品名／型番	8.5 インチ液晶　デジタルフォトフレーム　／　DS-DA851
本体色	ホワイト／クリア
外形寸法	265×185×33mm（横幅 × 高さ × 厚さ）
本体重量	600g（スタンド含む）
電源	AC100V - 240V　50 / 60Hz、電源アダプタ：12V 1A
消費電力	12W ／待機時：0.15W
液晶パネル	サイズ：8.5 インチ（16：9)、480×234pixels 画面輝度 =250 cd/m2 コントラスト比 =350：1 視野角 = 上下：40°〜 50°／ 左右：40°〜 40° 表示色数 =1,677 万色 バックライト寿命 ≦ 10,000 時間
再生ファイル形式	・写真….jpg/.jpeg/.bmp ・音楽….mp3/.wma ・映像…ファイルフォーマット：.avi/.mpg/.mpeg/.dat （ビデオ）mpeg1/mpeg2/mpeg4 （音　声）mp3/mpeg/lpcm/dolby/ac3/wma/adpcm
対応 OS	Windows XP
スピーカー	最大出力：2W×2
内蔵メモリ	128MB
接続端子	・入力：USB ／ miniUSB ／ MMC ／ CF ／電源入力 ・出力：イヤホン（φ 3.5mm）
動作環境	温度：5 〜 35℃
製造国	中国

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。また、再生ファイル形式や挿入メディア、動作環境については本書前半ページに記載の注意をご覧ください。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231−0033　神奈川県横浜市中区長者町 3−8−13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120−602−302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月〜金曜日の 10 時〜 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。